

職員による自己評価

A環境面

- ・掃除、整頓は感染防止の観点からもより徹底して継続していく。
- ・洗面台や職員スペースなどに掲示物を掲げることで視覚的にも、お子さまがどんな行動が望ましいかを理解しやすくしている。

B児童への支援内容

- ・前回に比べケース会議の回数が減り、書面への記入になった。結果として各職員が各々の時間に合わせて書くことができ、自身の考えを気兼ねなく書くことができている。様々な視点からの成果や課題も多く得ることができている。

C関係機関との連携

- ・放課後等デイサービスの協議会等に参加をしている。今後も継続していく。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・HUG等の活動報告に加え、送迎時に活動の報告も行っている。

E非常対応

- ・ヒヤリハットを確認する体制が前回よりも定着しヒヤリハット事例も多く集まった。

保護者による評価

A環境面

- ・人数が多い日には活動するスペースが狭く感じた。
- ・施設のバリアフリーに関しては「どちらともいえない・言えない」が4割となった。

B児童への支援内容

- ・適切だと思う。

C事業所からの情報発信

- ・年一回くらいで情報交換の場が欲しい。
- ・保護者会などがあればうれしい。

D非常対応

- ・

E満足度

- ・オレンジ（スクール）に通うことを楽しみにしています。

事業所内での分析

【共通点】

- ・教室が2階であること、玄関に段差がある事を踏まえてバリアフリーとは言い難い。
- ・ヒヤリハットの確認が定着してきたことにより、安全性が向上し、お子様が楽しんで通える教室になった。
- ・教室での支援を妥当とする意見がみられる。

【相違点】

- ・プログラムの固定化に対する「どちらともいえない」という意見も複数あり、ご家庭のニーズを拾い切れていないことが分かった。
- ・保護者会といった情報交換の場への要望があった。
- ・活動スペースや人員配置はより安全を高めるためにも増やしてほしいという意向が感じられた。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・駅から近く、区外から通ってくださるお子様も多い。
- ・自作の教具や教材も多く、お子様の苦手や得意に合わせた柔軟な学習が可能である。
- ・また具体物などを使うことでプリントのみに縛られない学習が可能である。
- ・外国語が母国語のご家庭には、外国語の先生を通訳に招く、ひらがなや母国語にて情報共有をするなど、ご家庭の状況に合わせてコミュニケーションをとっている。

事業所の改善点

- ・保護者会や他事業所との交流などの要望もあり、今後検討していく。
- ・事業所を複数利用しているご家庭も増えてきているため、関連事業所との情報共有ならびに役割分担などもできるような体制を検討していく。
- ・何気ないときにも積極的に保護者とのコミュニケーションをとることで、悩んでいることなどを話しやすい関係性を作る。
- ・お子様が活動しやすい活動スペースの確保をする。

事業所の改善への取り組み

- ・送迎時に職員が活動内容や気になった点などを話し、保護者に対して話しやすく相談しやすい雰囲気を作っていく。
- ・療育の子と学習している子のバランスを見ながら、活動スペースを広くとれるよう、机の配置などを臨機応変に調整していく。
- ・他事業所との連携体制強化のためにも、お子様の発達で気になった点や共有すべき点などがあつた際には、ご家庭の同意のもと、他事業所と連携体制をとれるよう検討していく。

～自己評価を行つての事業所としての感想など～

貴重なご意見、ご感想をいただき、誠にありがとうございます。今年度は異例の事態が相次ぎご家庭にも多くのご迷惑いたしました。しかしどのご家庭からも多くのご協力を得ることで、緊急事態宣言下でもお子様方と多くの実りある時間を過ごすことができました。

昨年度の個別的な支援を目指したところから、今年度はそれらをより具体的に「教材」という形で提供できたと感じております。今後も課題の達成と現在の成果を継続できるよう改善・検討を重ねて参りますので、何卒よろしくお願い致します。

事業所名 オレンジスクール 鶴見教室

担当者 三浦 南

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール鶴見教室

保護者数（児童数）：46（50） 回収数：38 割合：83%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	4		人数が多い日は教室が狭い感じがした。	お子様がより安全に活動できるよう、教室内の配置や、人数の調整など柔軟に対応して参ります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	35	3		今まで受けた事業所の中では専門性は適切だと思う。	今後ともお子様の成長のお役に立てるよう職員の知識向上に邁進していきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	14	3		
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	38				
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	32	6			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 4	13	不必要 21	通常級（交流級）との友達の関わり方の練習になると思う。 無理して交流させる必要はないと思う。 オレンジスクールでは必要ないかと思う。	交流の機会につきましては、事業所の態勢、ご家庭、お子様のご意見を十分に考慮した上で検討していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	4			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 4	14	不必要 20	保護者会などがあたらうれしいです。 年一回くらいで情報交換の場があると思う。	現時点で開催の予定はございませんが、事業所としてどのようにアプローチできるか検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	10			苦情受付については、事務所玄関右手に掲示しております。ぜひご確認ください。またお子様、ご家庭から苦情があった際は真摯に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	2			事業所の態勢、ご家庭、お子様のご意見を十分に考慮した上で検討していきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	33	5			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	36	2			
非常時等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	36	2			

の 対 応 の 満 足 度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35	3		
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	36	2		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	38			

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール鶴見教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に準拠しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令に準拠しています。	より充実した支援体制のため、効率の良い人員配置や補強を継続して検討していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関・トイレに段差があります。	大変ご不便をおかけしております。職員が玄関で迎え入れ、その際に足元に注意して上がるよう促すなど、段差を考慮した安全な受け入れ体制を整えていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			実施の期間を定め、結果や考察の時期を職員が意識できるよう取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の皆様に事業所評価アンケートのご協力いただき、業務の改善に取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクール鶴見教室のHP内で公開しています。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在は、事業所・ご家庭の二者評価です。	今後必要に応じて第三者評価を検討していきます。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			教室内の現状に応じて研修を実施、参加しています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画の説明も含め、保護者の方のご要望と課題に沿った計画を立案できるよう心がけております。	今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で統一した書式を使用しております。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		職員間でご利用の成果や今後の課題などを共有しています。	今後はケース会議などの回数も検討していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか		○		お子様の特性、課題に応じた内容を日々検討しています。	より個別的な支援を迫及していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。学校行事の影響も考慮しつつ検討しています。学習支援の道具もそろえています。	今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の課題に沿って集団活動も取り入れながら柔軟に対応しています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ご利用時間の前に、当日の動きや予想される出来事を職員間で確認しています。	どのお子さまもより安心して通えるよう、環境整備や支援の内容などを今後も検討していきます。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後、職員間で情報の共有を行っています。 非常勤職員からも活動時のメモをもらい、記録以外の小さな気づきも拾えるようにしています。	今後も継続していきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回活動記録を記入しています。	今後も継続していきます。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回を目安に実施しています。その際に個別支援計画も作成しています。	今後も継続していきます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者、支援を担当するスタッフが参画することになっています。	今後も継続していきます。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要に応じて、連携を行なっています。	今後も継続していきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			医療職スタッフを配置していないため、ご利用の際は主治医、ご家庭とご相談をさせていただいています。	今後も継続していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		必要に応じて、連絡・連携を行なっています。	今後も継続していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		必要に応じて、連絡・連携を行なっています。	今後も継続していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		研修会や見学会に参加し、日々の支援に繋がっています。	今後はより積極的に参加し、職員のスキルアップを目指していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	ご利用時間の関係で、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				鶴見区障害児関係機関連絡会に参加しています。	今後も継続していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				ご利用後、その日の活動報告をさせていただいています。また、ご家庭からのご相談もメール、LINE等をご活用いただいています。	今後も継続していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。	活動記録や送迎の際なども利用し、良い支援の方法などを共有していきたいと思えます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約の際にご説明しています。また、教室内にも掲示をしています。	今後も継続していきます。	

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。	積極的とは言い難い部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思ます。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は、行っておりません。今後検討していけたらと思います。	
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情をいただいた際は、社内のフローに従って迅速かつ適切に対応をします。	今後も継続していきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログにて活動の様子を報告しています。	おれんじだよりにて定期的なお知らせをお送りしております。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報書類につきましては、鍵付き棚で保管しています。また、教室内の全PCにはパスワードを設定しています。	今後も継続していきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お伝えする情報は紙面化を心がけています。お子様へは特性に合わせた情報伝達手段を使用するようにしています。	今後も継続していきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在実施しておりません。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内でマニュアルを作成掲示しております。また川に挟まれた土地柄「浸水」に関してもマニュアルを作成しております。	今後も継続していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		夏と春の長期休暇中に訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	④①	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内でマニュアルを作成し、研修を行っています。	今後も継続していきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		安全にご利用いただけるよう、事業所内で対応を決定しています。また、その内容に関しては面談際にご家庭にご説明し、確認をとっております。	今後も継続していきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事、おやつ等の提供は行なっていません。	今後も提供の予定はありません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが発生した際は、報告書を作成し、職員で共有を行います。同様の事象が発生しないよう、迅速に対応します。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。